

■コメント

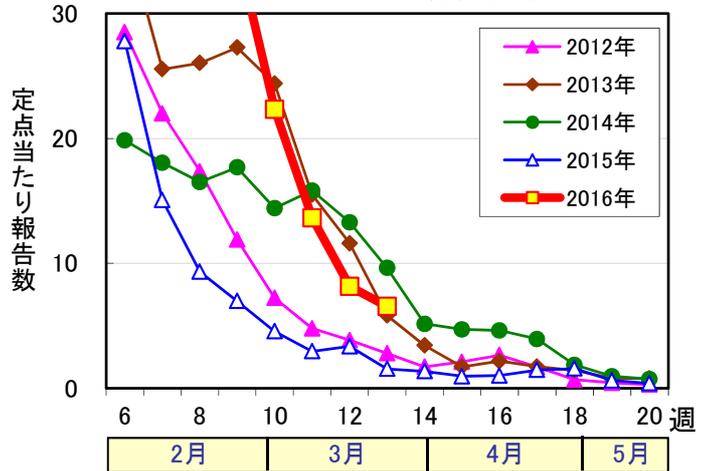
1. インフルエンザ

定点当たり6.54人とやや減少しました。  
 例年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がける必要があります。  
 なお、第13週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が30人、B型陽性が41人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり11.4人と、前週と比べてやや増加しました。  
 なお、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は18人の報告がありました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減状況		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
フィルン	インフルエンザ	242	6.54	6.29	↗	小児科	流行性耳下腺炎	29	1.21	0.63	↑	急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.31	↘	眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.13	↘	増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	1.65	↗		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	↘	微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	感染性胃腸炎	274	11.42	8.70	↗		流行性角結膜炎	4	0.50	0.48	↘	横ばい	ほとんど増減なし	
	水痘	3	0.13	0.93	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	↘	急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	手足口病	1	0.04	0.16	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	↘	増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	伝染性紅斑	16	0.67	0.16	↗		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	↘	微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	突発性発しん	5	0.21	0.35	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↘	横ばい	ほとんど増減なし	
	百日咳	-	-	0.02	↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	18	2.57	↗	↗	急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02	↗									

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	45	女性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
4	A型肝炎	1	3	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	男性(10歳未満)
5	梅毒	1	6	女性(20歳代)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
広島市	第9週	1,296	4	73	244	10	1	40	10	-	4	9	3	-	5	-	-	3	-	22	-
	第10週	826	3	63	231	8	-	32	7	-	2	21	3	-	4	-	-	2	-	14	-
	第11週	491	2	52	205	6	2	25	5	-	5	10	4	-	3	-	1	-	21	-	
	第12週	301	6	42	206	8	5	16	7	2	1	13	1	-	2	-	-	1	-	15	-
	第13週	242	6	37	274	3	1	16	5	-	1	29	1	-	4	-	-	-	-	18	-
広島市	第9週	35.03	0.17	3.04	10.17	0.42	0.04	1.67	0.42	-	0.17	0.38	0.13	-	0.63	-	-	0.43	-	3.14	-
	第10週	22.32	0.13	2.63	9.63	0.33	-	1.33	0.29	-	0.08	0.88	0.13	-	0.50	-	-	0.29	-	2.00	-
	第11週	13.64	0.09	2.26	8.91	0.26	0.09	1.09	0.22	-	0.22	0.43	0.17	-	0.38	-	0.14	-	3.00	-	
	第12週	8.14	0.25	1.75	8.58	0.33	0.21	0.67	0.29	0.08	0.04	0.54	0.04	-	0.25	-	-	0.14	-	2.14	-
	第13週	6.54	0.25	1.54	11.42	0.13	0.04	0.67	0.21	-	0.04	1.21	0.04	-	0.50	-	-	-	-	2.57	-
全国	第11週	21.13	0.29	2.71	5.95	0.33	0.02	0.42	0.36	0.01	0.02	0.79	0.25	0.01	0.46	0.01	0.04	0.44	0.02	0.56	-
	第12週	13.81	0.21	2.00	4.88	0.32	0.02	0.29	0.34	0.01	0.01	0.80	0.20	0.01	0.47	0.01	0.03	0.35	0.01	0.55	-

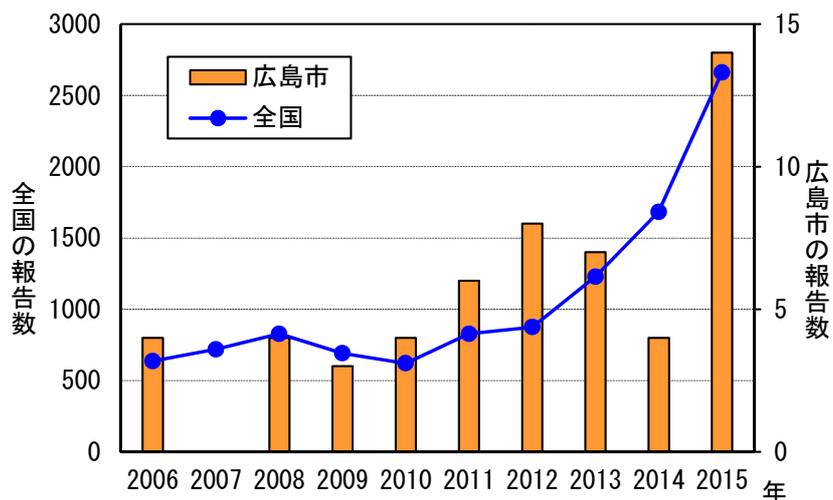
## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
突発性発しん	発熱(39.0) 丘疹	2	女	2016/02/19	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
その他の呼吸器疾患	上気道炎 下気道炎	0	男	2016/02/23	咽頭拭い液	ライノウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市および全国における梅毒の年間報告数の推移



梅毒の広島市における2015年の報告数は14件と、これまでの年間報告数の最高値(2012年の8件)を上回りました。性別は男性が9件(64%)、年齢は20~40代が12件(86%)でした。

また、全国的にも近年報告数が増加しており、2015年は2014年の約1.5倍の報告がありました。

広島市では2016年もすでに6件報告されており、今後の動向に注意する必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第13週(3月28日~4月3日)